

# 区政のここが聞きたい

## 第4回定例会一般質問(要旨) 11月25・26日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

歯を食いしばって前を向  
け。街が足を止めても蹲  
っても時間の流れは止ま  
ってくれない。



自民党豊島区議員  
松下 創一郎

●今後の区財政と都市開発につ  
いて

問 コロナ禍での3年度予算編  
成方針は。

答 厳しい状況への備えを図る  
一方で、「SDGsモデル都市」  
の理念を踏まえ、持続発展を目  
指す「国際アート・カルチャー  
都市」の実現に取り組む方針。

問 歳入環境が厳しい中、来年  
度予算を含めた今後数年先の財  
政見通しと危機管理については。

答 現時点で見通しを立てるこ  
とは、非常に困難な状況にある。  
貴重な財源を生命・健康・暮らし  
を守ることを最優先に位置付け、  
将来展望と道筋を明確に示すこ  
とが最大の危機管理対策となる。

問 池袋西口の東京電力敷地に  
は、賑わいを創出するが、喧騒  
とはならない施設を招き入れて  
ほしいと考える。区の見解は。

答 池袋西口全体の活性化につ  
ながるように、地元との協議を  
行い、積極的に働きかけていく。

問 東池袋エリアへのより一層  
のアクセス向上となる東京メト  
ロ副都心線の東池袋駅の開業に  
ついて、現況と区の見解は。

答 イケ・サンパークがグラン  
ドオープンし、新駅開設に向け  
ての条件も整った。協議会を再  
結成し、支援していく。

問 イケ・サンパークへのアク  
セス向上のため、都電荒川線東  
池袋四丁目と向原の間に停留所  
を作ることを都に働きかけては。

答 都への打診とともに、仮停  
留所の検討や現地調査等を実施  
地域の意見を伺い、検討する。

問 雑司が谷体育館の改修に関  
して、民間の手を入れたPFI  
などの手法により新たな計画を  
立てては。

答 PFIなどの公民連携手法  
の活用を研究し、より具体的な  
検討を進め、敷地を最大限に活  
用できるプランの実現を目指す。

●オリピック・パラリンピッ  
クの開催に向けて

問 本来期待していた効果と、  
延期によって区として力を発揮  
できるようになった点は。

答 多くの国内外客が池袋でラ  
イブサイトやナイトライフ観光  
を楽しむことを期待。延期によ  
り、感染対策を行い実施中の「T  
okyo Music Eve  
ning YUBE」とライブ  
サイトを組み合わせた区独自の  
取組の都への提案や区内施設を  
活用した魅力の発信等が可能に  
なった。

●子供たちへの教育について

問 新型コロナウイルス感染症  
による未曾有の生活スタイルの  
変化が及ぼしている影響は。

答 学習の遅れへの不安、部活

●住まいと暮らしを確保する居  
住支援の強化について



SDGs未来都市豊島区  
(西武池袋本店)

問 コロナ禍で住居確保給付金

動の大会中止の喪失感等からス  
トレスを感じた子供が7月まで  
増加したが、2学期から徐々に  
再開した学校行事等に多くの児  
童が充実感を感じている。今後  
も、心のケアの徹底の指導や可  
能な教育活動の実践を支援する。

問 学校現場における現在のタ  
ブレット利用状況は。

答 児童・生徒の回線利用量は  
順調に増加している。教員は、  
発達段階や特性、教科や活動の  
特徴に応じた学び方について情  
報共有し、研究を進めている。

問 豊島区立小中学校で、体罰  
の存在が明らかになった事案は。

### 2030年 誰もが笑顔 あふれる豊島区に!



公明党  
辻 薫

●SDGs目標達成に向けての  
取り組みについて

問 現在中央図書館で実施して  
いる児童向け企画展示を、大人  
も含めて地域図書館でも実施し、  
区民ひろば等でも区民に周知で  
きる取組を要望する。

答 地域図書館、区民ひろば、  
エポック10などでも、大人も対  
象とした企画展示を検討する。

問 過去5年で、中学校で1件  
発生し、都が懲戒処分を発令。  
●さらに安全・安心な豊島区へ

問 この5年間の本区の防災・  
災害対策に関する見解は。

答 業務の現状を把握・分析し、  
さらに拡充・強化する事項と不  
足欠落している事項を明確にし  
て具体的に事業化してきた。

問 本区の安全・安心に関する  
今後の課題や懸念事項は。

答 テロを未然に防ぐことが重  
要であり、SDGsの精神であ  
る「誰一人取り残さない」コミ  
ュニティを作り上げることが効  
果的な手段。

問 対象となった方々が、給付終  
了後に住まいを失わないように  
するために、本人や家族のニー  
ズや状況に応じたきめ細かな支  
援が必要と考えるが。

答 くらし・しごと相談支援セ  
ンターで、相談者に最適な支援  
プランを案内している。

問 コロナを機に、住宅セーフ  
ティネット制度の家賃低廉化制  
度による支援で自立を促してい  
くという仕組みづくりに積極的  
に取り組むべき。

答 制度の普及に向け、福祉施  
策との連携を強化しつつ、住宅  
オーナーの不安を払拭できる効  
果的な制度の運用に取り組む。

問 福祉と住宅の関係部署でプ  
ロジェクトチームを設置し、低  
廉な家賃で入居できる住まいの  
開拓や入居に関わるマッチング  
等を進める居住支援法人やNP  
O等の活動状況の情報共有を進

めることを要望する。  
問 今後、関連部局を拡大し、  
効果的な入居支援につながるよ  
う検討を重ねる。また、豊島区  
居住支援協議会のネットワーク  
を活用し、情報共有を深める。

問 福祉と住宅関係部署の連携  
を進め、居住支援強化の観点か  
ら、生活困窮者への住まい確保  
・定着支援事業に取り組むべき。

問 支援事業の活用も検討し、  
居住支援の強化を図る。

問 コロナ禍で、住まいだけで  
なく複雑な課題やリスクを抱え  
ている方々を誰一人取り残さな  
いというSDGs未来都市とし  
て、重層的支援体制整備事業に  
速やかに取り組むべき。

問 関係各課が連携しワンスト  
ップで対応する「断らない相談  
窓口」を実践している。さらに、  
分野を横断してワンチームで課  
題解決を図る取組を開始した。

●フレイル対策について

問 高齢者の口腔機能の保持増  
進のため、高齢者口腔機能健診  
及び健診後のフォローの実施を。  
答 早期に、歯科健診事業の実  
施ができるよう協議する。健診  
後のフォローは、個別通知で案  
内することを検討。

●GIGAスクール構想の推進  
について

問 児童・生徒と同機種のタブ  
レットを早期に教員に支給する  
必要があると考えるが。

答 12月中に各校2台程度教員  
用に配付。今後台数を増やす。

問 教員がデジタル機器を効果  
的に使用できるとともに働き方  
改革に逆行しないよう、ICT  
支援員の増員拡充を強く要望。  
答 必要なICT支援員数の拡  
充を検討する。

### 「豊島の未来への展望」10 2030年の未来図



都民ファーストの会・民主  
星 京子

●高松地区の浸水対策について  
 都と連携し、高松地区の浸水対策に取り組むよう要望する。  
 ●降雨量データを提供するなど協力をし、浸水対策の早期実現に努める。  
 ●「お悔やみ案内コーナー」設置の進捗状況について  
 「お悔やみ案内コーナー」設置に関する検討状況は。

来年度の早い時期に開設できるよう準備を進める。  
 死亡届が出された際に提供している「手続き確認シート」を「お悔やみハンドブック」として「お悔やみ案内コーナー」の利用促進を含む内容に改善するよう要望する。  
 「お悔やみハンドブック」を作成し、便利な窓口を目指す。

●国際都市としまのまちづくり  
 「ハレザ池袋」事業の検証と成果、今後の展望と池袋の都市再生の方向はどうあるべきか。  
 「ハレザ池袋」は新たな文化発信拠点、防災拠点を生み「国際アート・カルチャー都市」実現のシンボルとなった。周辺地域の民間開発につなげ池袋の都市再生をリードしたい。

東西デッキの検討を進める中で鉄道事業者のエスカレーター設置を強く要請していく。



駅周辺のバリアフリー化

●池袋駅周辺バリアフリー対策  
 池袋駅東口中央方面出口や東口北出口にエスカレーターを設置すべき。

新たなバリアフリー法の理念を踏まえ、高齢者や障害者が安全で利用しやすい東口バス乗り場の集約化と窓口等を備えたバスターミナル整備を要望する。

●池袋駅前広場の整備等により、駅周辺空間が変わる機会をとらえ、エスカレーターやエレベーターの整備等について関係事業者と積極的に協議を行う。  
 JR山手線ホーム北改札側にエスカレーターを設置を含むバリアフリー化を要望する。

バス乗りの集約化は、交通環境の変化に向けて交通広場の再配置を検討する中で実施の予定。バスターミナル等は、駅周辺の開発動向等も踏まえ積極的に検討を進める。  
 ●としまの文化の灯り  
 ファーマーズマーケットに友好都市の催事や文化・芸術等と交流するファーマーズステーションを検討しては。

●今後の状況が続いていると認識。6次に渡る補正予算を計上し、基礎自治体としての対策を講じている。必要なサービスを提供できるよう取り組む。  
 ●不要不急の多額の投資事業を見直し、区民生活を優先する財政運営に転換すべき。

住宅地隣接の公園のため音量制限等の課題がある。ファーマーズマーケットを盛り上げるステージが可能な公園の指定管理者と調整を行う。  
 ●児童虐待・DV防止対策  
 児童虐待の早期発見等のため相談窓口としてLINE公式アカウントの開設を要望する。  
 ●個人情報等の課題もあるが実施に向けて検討する。  
 ●すぐに対応が必要な一般相談や緊急時のDV相談のため、SNSの活用や夜の相談窓口を開設すべき。

### 来街者のためのまちづくりより、区民の命とくらしを守るための予算編成を



日本共産党  
儀武 さとる

●区長の政治姿勢について  
 東京23区で最初に「非核都市宣言」をおこなった区として、核兵器禁止条約の発効についての区長の認識はどうかか。

区民生活を最優先に位置付けたうえで、投資事業は計画的に展開する。  
 ●区民・生活困窮者救済のため、基金や起債を活用してでも積極的な予算編成をすべき。

●来年度予算編成にむけて区がやるべきことについて  
 コロナ危機で苦しむ区民生活の実態をどう認識し、救済しようとしているのか。そのことを基本姿勢に貫く必要性を感じているのか。

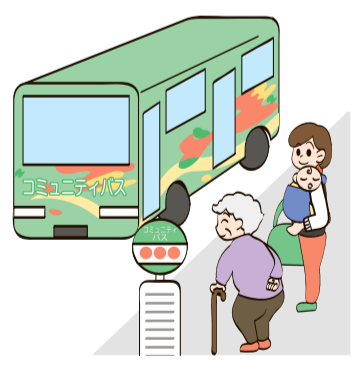
基金のフル活用に加え、計画的で適切な起債の発行も検討。  
 ●クラスター発生により多大な影響が出る施設等では、希望する職員、利用者全員のPCR検査が受けられるよう拡充せよ。  
 ●希望する全員を検査対象とすることは考えていない。

●今年度は新型コロナウイルス禍の下で、熱中症による救急搬送者が激増。生活保護世帯へのエアコンの設置補助及び修理、取り換え費用を支給すべき。また、低所得者へのエアコン設置、電気代補助を行うべき。

いずれも支給する考えはない。低所得者のエアコン設置、電気代補助制度を設ける考えはない。  
 ●高齢者、生活困窮者の住宅対策は公助が必要。借上げ住宅である安心住まい住宅を増設し、

地域的な偏在を解消すべき。さらに世帯用住宅を増設拡充せよ。  
 ●地域的なバランスに配慮しつつ、空白地域での居室確保や世帯用の居室確保に努める。  
 ●住宅を自己責任、市場任せでは解決できない。区営、福祉住宅など公営住宅を増設すべき。  
 ●民間賃貸住宅のストックを有効活用することを基本方針としているので、新たな公営住宅建設計画の考えはない。  
 ●新型コロナウイルスを感じている子どもや保護者の願いに応えるためにも財務省に対して少人数学級の導入を要請せよ。  
 ●引き続き、財務省を含めた関係省庁等へ要望していく。

30人学級の導入を視野に入れて、準備にとりかかるべき。  
 ●今後も国や都の動向を注視して準備を整えていく。  
 ●1億5千万円赤字のイケバスは、すでに区財政の重い負担。新型コロナウイルスの収束も見通せない中、収支の改善を図るすべもない。キッパリと中止すべき。  
 ●現在は様々な困難に直面しているが、イケバスは収益だけ



コミュニティバス

### すべての個人が人として尊重されるまち、豊島へ



無所属の会  
塚田 ひろなり

●新型コロナウイルスで顕在化した問題について

非正規やパートなどで生計を立てている区内女性の人数は、

でなく、存在自体がまちの雰囲気を変える大きな役割となる。  
 ●交通不便地域、銭湯のない地域、買い物難民の地域を定期的に回遊する公共交通機関、区民の足となるコミュニティバスこそ直ちに導入すべき。  
 ●課題の検討には一定の時間が必要で、早急な導入は難しい。  
 ●コロナ感染症の中で単独の施設としての保健所の役割が改めて認識されている。さらに再開発事業での保健所建設は莫大な費用が掛かる。今こそ、南池袋二丁目C地区再開発事業への合築を見直し、独立した建物としての保健所を確保すべき。  
 ●今後の財政的影響や市街地再開発事業の進捗を注視しつつ、予定通り計画を進めたい。  
 ●旧朝日中学校跡地活用について  
 ●コロナ禍の下で、公園の遊具が使用不可になった。園児の健やかな成長を保障するためには、園庭のある認可保育園が必要。旧朝日中跡地に増設すべき。  
 ●今後の保育需要の推計、周辺の保育施設の状態から、現時点では整備の必要性は低く、整備計画を立案する考えはない。  
 ●跡地活用計画の特養ホーム建設が大幅に遅れている。遅れている理由を明らかにし、直ちに特養ホームの建設を行うべき。  
 ●特養ホームとしての活用の在り方の検討に時間を要している。区財政への影響も見極めながら検討を進める。

※CSW(コミュニティソーシャルワーカー)…地域において、生活上の課題を抱える方や家族に対する支援を、様々なネットワークを生かして解決に向かう仕組(相談員)。

**問** 人数は把握していない。  
**答** 一人暮らしの女性が支援体制につながる機関が少ないことについての考えは。

**問** 相談場所の認知度の低さと利用状況の低さは課題であると認識している。  
**答** コロナ禍で以前よりあった女性の貧困や生きづらさの問題があぶりだされている。本区においても、直接支援できる対策を打つべきだが、実態が可視化できていないのが問題では。

**問** 女性の受ける影響が特に深刻との認識は区としても強くある。更なる実情の把握がどのようになっているか検討していく。  
**答** 女性の受ける影響が特に深刻との認識は区としても強くある。更なる実情の把握がどのようになっているか検討していく。



ジェンダー平等を実現しよう  
 5  
 男女の賃金格差による女性の貧困や生きづらさはSDGsからも取り組むべき課題。

**問** 公務を担う人たちの労働環境について  
**答** 様々な行政需要が増えており、これまでの経費削減、人件費削減という「定員適正化」の考え方を直視する時と考えるが。

**問** 行政需要に見合った職員体制を検討すべきと考える。削減ありきではない定員管理の在り方について、検討を進めていく。  
**答** 行政需要に見合った職員体制を検討すべきと考える。削減ありきではない定員管理の在り方について、検討を進めていく。

**「政治とは弱き者に光をあてること」豊島区が向かう、これからのニューノーマルについて**

**問** これからの脱炭素社会の実現に向けて  
**答** プラスチックごみの排出抑制を進める政策として、庁内や区内の公共施設にマイボトル用給水器の設置を改めて提案する。



立憲としま  
 川瀬 さなえ

**問** 非正規職員が安心して働く環境にあることで適切な行政サービスの提供ができる。働き手の個人の尊厳を保障することは、行政サービスの受け手である区民の利益にも資するのでは。  
**答** 意欲を持って働けるよう、職場環境の整備に努める。

**問** 今回の就職氷河期世代を対象とする特別区の事務職の採用試験における、本区の採用人数及び今後の採用方針は。  
**答** 新たに導入された就職氷河期世代対象の制度による採用予定は1名だが、経験者採用制度では、26名の採用を予定している。今後も制度を併用しつつ即戦力となる人材の確保に努める。

**問** 職員の採用ゼロが続いた期間における、その世代の人員確保策は。  
**答** 経験者採用制度の受験者には就職氷河期世代も多いため、社会経験を積んできた優秀な人材を積極的に採用し、職員構成の適正化に努める。

**問** 女性の自殺者の増加について  
**答** 区内女性の自殺率が全国平均より高い要因の分析及び対策は。また、コロナ禍の影響は。

**問** 来年度、区本庁舎に設置するための準備を進めている。区内の公共施設については、今後検討していく。  
**答** SDGsモデル事業の会場である4つの公園にはカフェが併設されている。カフェにマイボトルを持参することで、給水を受けられるサービスを公園の価値として取り入れては。

**問** 公園内事業者とも連携した取組が重要。今後協議していく。  
**答** 区の脱炭素社会に向けた取組について、区長の所見は。

**問** 一般廃棄物処理基本計画の具体的施策にプラスチックごみの排出抑制などを盛り込む形で改定作業を進めている。様々な対策を講じながら、環境問題に取り組んでいく。  
**答** これからのひとり親家庭支援について

**問** 今年の4月から9月のひとり親からの相談のうち、昨年の同時期よりも増加した相談内容と、その前年度比は。また、その結果から、ひとり親世帯の状況をどう分析しているか。  
**答** 児童扶養手当や生活保護などの相談は昨年の1.5倍の増えと増加している。コロナ禍の影響を受け、更なる負担がかかっていることを承知している。

**問** ひとり親世帯に対する2年度目の区独自の給付を要望する。  
**答** ひとり親世帯には、経済的な支援や精神的なケアなど、総合的な取組が必要。2年度目の給付は検討していないが、寄附金を利用し、精米を再度配布予定。

**問** ひとり親世帯等、支援を必要とする方への支援制度は。また、窓口相談にいられた方への対応について一層の配慮を。  
**答** 国のひとり親世帯臨時特別給付金、都のひとり親家庭支援事業、また生活福祉資金の特別給付などがある。本区では子育て支援課内にひとり親家庭支援センターを総合相談窓口として設置。丁寧な対応に努めていく。

**問** 継続して、切れ目なく支援するために、アウトリーチできる人員、専門職を増やすなどの体制を整え、虐待やDVを未然に防ぐ取組を。  
**答** 区の体制については、児童相談所を設置する中で、専門職の育成を図るとともに、NPO等との連携力を高め、取り組んでいく。区とNPO、それぞれの強みを生かし対応。

**問** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う  
**答** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う

**問** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う  
**答** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う

**問** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う  
**答** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う

**問** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う  
**答** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う

**問** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う  
**答** マイナンバーカードの取得及び保険証としての利活用に関し、区内の医療機関や医師会等と連携して周知啓発活動を行う

**全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!**



無所属元気の会  
 小林 弘明

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!

**問** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!  
**答** 全住民「誰一人取り残さない」ために、生活・いのちを守るICT利活用支援体制の構築と情報発信を!



ひとり親家庭



マイナンバーカードと健康保険証

**問** ことについての区の見解は。  
**答** マイナンバーカードの保険証導入は間違いなく区民生活の利便性を高めると認識。区内医療機関や医師会等と連携し、協力

**NHKの深夜訪問について**

**問** NHKの深夜訪問について  
**答** NHKの深夜訪問を禁止して欲しい。業者の訪問時間は法律で規制がされていて、特定商取引に関する法律では、「訪問は常識的な時間内」とされている。返済の取り立てに関してより厳しく、時間も明確に定められており、罰則や罰金が科せられる。だが、NHKは規制の対象外とされ、深夜に訪問しても罰せられない。深夜1時頃に来たという非常識な話や、身の危険を覚え、引越をしたという女性の話もきいている。NHKのこの異常な特権は無くすべき。  
**問** 区に寄せられたNHKの深夜訪問に対する苦情は、過去3

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

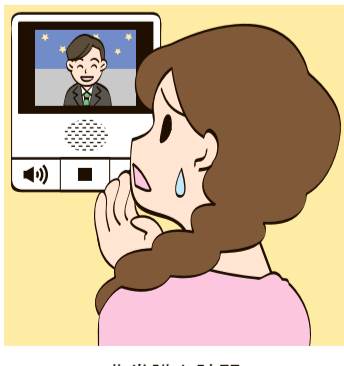
**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

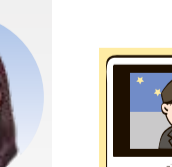
**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて

**問** 持続可能なまちづくりについて  
**答** 持続可能なまちづくりについて



非常識な訪問



自民党豊島区議団  
 有里 真穂

※SDGsモデル事業の会場である4つの公園…池袋西公園、中池袋公園、南池袋公園、としまどりの防災公園

**問** ファーマーズマーケットの取組が、SDGsの2つの鍵である民間企業と地方創生によって進められる事業であることについての考えは。

**答** ファーマーズマーケットは、区民に新鮮な食材を提供し、SDGsモデル事業の第1弾として実施。地方創生の意味では、友好都市を中心に全国の都市との連携を深め、民間企業の視点では、区内企業や商店会に広げ、SDGsの理念を地域全体に広げることができると考える。



ファーマーズマーケット(イケ・サンパーク)

**問** SDGs日本モデル宣言についての考えは。

**答** 地方創生の観点からも他の自治体との連携が重要であり、宣言への参画を検討していく。

**●環境への取り組みについて**

**問** ゼロカーボンシティ宣言に対する区の考えは。

**答** 本年8月、区長会総会にて23区全体で宣言に向けて調査・研究を行うことになり、その重要性に鑑み、実現へ取り組む。

**問** 区民参加による今後の環境政策の展開は。

**答** 区として率先して取り組めることは確実に実施し、区民や団体、企業等とも連携しながら、一体的に取り組む。

**●子育て支援策について**

**問** 民間と連携した産後ケア施設を区内に整備しては。

**答** 現時点で、区として民間と連携した産後ケア施設を区内に整備することは検討していないが、今後、民間法人等から相談があった場合、提案内容を精査し、対応を検討する。

**問** 親が離婚または別居後の子どもの面会交流の支援について、事業展開や周知方法は。

**答** 面会交流の専門機関と連携し、相談者の状況に応じて情報を共有し、適宜、専門機関に繋ぐ。今後、制度や支援事業の周知強化及び、民生・児童委員や主任児童委員に、ひとり親家庭への支援に関する情報を提供。

**問** 区内のフードバンクや子ども食堂と連携した政府備蓄米の活用に対する申請等の支援は。

**答** 本年9月より活用事業が開始され、としま子ども食堂ネットワークに登録する19事業者に周知し、現在、2事業者が申請。区HP等でわかりやすく周知を行い、申請に関する支援も丁寧に行う。

**問** 来年度に向けた、支援対象児童等見守り強化事業の実施体制や既存事業との連携は。

**答** 見守り強化事業は、東部子ども家庭支援センターが担当。食糧支援や学習支援等と連携を図りながら、重層的に支援。

**問** 別居中など法的支援が行き届かない家庭に対し、見守りの支援が受けられる環境整備は。

**答** 支援事業や相談窓口の広報に努め、地域のネットワークを活かし、支援の輪に繋げる。

**●東長崎のまちづくりについて**

**問** 東長崎駅北口共同化事業の今後の展開は。

**答** 今後、地域の声を踏まえ、具体的な共同化計画の検討に向けて区がリードし、早期の準備

**「豊島のまちづくり」**

**●災害の備えについて**

**問** 昨年の台風19号の教訓を踏まえ、豊島区地域防災計画の風水害編が大幅に改訂されたがそのポイントは。また、今年10月に台風14号が直撃していた場合に救済センター開設までのタイムラインは。

**答** ポイントは、風水害時に開設する救済センターを従来の3か所から35か所にした点。また、タイムラインとして、台風が区に接近する48時間前に災害対策本部において救済センター開設の決定をし、24時間前を目安に開設するなどとした。

**問** 現在、防災訓練は休止されているが、今後の見直しは。

**答** 区内4か所で展示型の防災訓練を実施。感染症対策を踏まえた新たな対策を示していく。

**●池袋繁華街感染防止対策について**

**問** ななまーるステッカーの掲示店舗に対する支援策のうち、新型コロナウイルス感染防止対策費用補助事業の概要と周知方法は。

**答** 区内で3か月以上事業を営む中小企業に、2年4月1日から3年2月28日までに行った新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン等に基づいた対策経費の一部を区が補助。区HP

**●としま文化の日について**

づくりビジョン」において、踏切の事故解消と渋滞緩和への取組は。

**答** 今年度、改定予定の「都市



都民ファーストの会 中澤まさゆき

**問** 密にならない程度の野外活動が推奨され、地元の公園の重要性が増しているが、西池袋公園の治安に不安の声がある。池袋駅西口の治安対策の強化を。

**答** 新たに青色防犯パトロールの24時間運行を実施するなど、治安対策を一層推進していく。

**問** I K E B U S アト・カルツアは現在2コースあるが、他のエリアを巡るツアーの検討を。

**答** 今後、季節限定スペシャルツアーや、夕暮れ時の美しい公園などを堪能できるトワイライトコースなどの実施を検討。



「としま文化の日」ロゴマーク

**●池袋図書館及び池袋第三区民集会所について**

**問** 池袋図書館の改修計画が見直されたが、近接する狭い道路に囲まれアクセスの改善が必要ならい館大明、築40年以上で施設の更新が必要な池袋幼稚園、周辺のまちづくりについて区の考えは。

**答** 池袋図書館単体の改築プランの検討と並行して、周辺の複

数の公共施設の在り方に対象を広げたプランの検討に取り組む。

**●ひきこもり対策について**

**問** 改正社会福祉法が3年4月から施行。法改正への対応は。

**答** 今回の法改正は、重層的な支援体制整備事業が創設されたことがポイント。任意事業だが、

**子育てしやすい街No.1 豊島区を目指して**



無所属の会 入江 あゆみ

**●子育て支援策について**

**問** 豊島区保育の質ガイドラインでは、保育士がするべきことが多く記載され、体力の持たない保育士の離職が危惧される。働き方改革を盛り込むべき。

**答** 今後ガイドラインを改定する際に具体的に盛り込んでいく。

**問** 別居中・離婚前のひとり親状態にある家庭について、区内における実態は把握しているか。

**答** ひとり親家庭支援センターでは、相談時に悩みを丁寧聞きながら実態把握に努めている。

**問** 別居中・離婚前のひとり親家庭において、児童手当を含む公的支援が十分にいきわたっていない現状に対する対策は。

**答** 離婚が成立していない場合でも、児童手当等、経済的支援が受けられることがある。該当者には、手続きを含め丁寧に対応。

**問** コロナ禍により、ひとり親家庭の生活はますます苦しくなっている。社会的孤立を生まないうよう、区が積極的に働きかけ、支援を充実させるべきである。

国の意向調査に申請する旨回答。実施に向け対応していく。

**問** 区職員、民生委員などに向けた研修が必要では。

**答** NPO法人KHJ全国ひきこもり家族連合会に協力いただき、年度内に、関連する部署の職員向けに研修の実施を検討。

労働環境を整えることが必要である。区職員が不妊治療と仕事の両立が出来るようなサポート体制はあるのか。また、体制整備に向けて検討はしているのか。

**答** 職員に対する不妊治療に限ったサポート体制はない。職場全体の理解を進め、職場として支える環境の整備に努めていく。

**問** 区内企業に対して、不妊治療の理解を深めてもらい、不妊治療を行いつつ、仕事ができる体制の整備を働きかけるべき。

**答** 区内事業所に対し、職場作りの情報発信を行っていく。

**問** としまの里親プロジェクトに、里親委託率、里親家庭数の具体的な目標を設定すべき。

**答** 児童相談所を開設した後、社会的養育推進計画を策定する。その中で、具体的な数値目標や達成期間を明記する。



里親普及啓発リーフレット

※ななまーるステッカー…新型コロナウイルス感染拡大防止対策を掲げた「ななまーる7つの宣言書」に同意し、署名・提出してもらった事業者に対し、配付・掲示依頼している感染拡大防止啓発ステッカー。